

100 ヒメコウロマイマイ(仮称) (オナジマイマイ科)

*Euhadra yagurai* form.

兵庫県ランク:C

環境省ランク:指定なし

種の概要

兵庫県西部(姫路市)~岡山県東部にかけて分布し、標高数百~600m付近の山地において、主に溪流周辺などの湿度の高い環境に生息する。道沿いや川沿いの木々の幹枝や笹などの草本上で活動する。殻径30~35mm、殻色は乳白色から黄白色を呈し、色帯型は無帯または(完帯)1234型で1帯が細い。県内北部には中国山地付近を境に殻径が40~50mmになるコウロマイマイが分布する。両者は混生することがないことで、それなりに分布域が異なることと、殻サイズや色帯の表現が相異なることで、現状では地域型扱いとした。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
△		○	△	○		○	

県内分布

姫路市、たつの市、宍粟市、佐用町

県内における生息状況及びその他特記事項

地域限定からCに変更。播磨西部の姫路市夢前町を東限とし、たつの市、宍粟市、佐用町に分布する。本地域型は県内に分布する他のマイマイ属各種に比べて分布域が狭いが、生息地はエリア内に散見される。数十年前までは多産箇所も見受けられたが、今では各産地とも個体群は弱小である。

保護上の留意点

生息地が山地と言えども川沿いや観光地にあり、河岸の改修や過度な除草、ならびに個体数の増殖が著しいニホンジカの摂餌による植相の衰退など、生息地の悪化が目立っている。ただし、県内の数箇所における有名産地では、陸貝収集家による長年に亘る必要以上の採集が最大の減少要因と考えられ、立ち入りや動植物の採集の規制を講じる必要がある。なお、コウロマイマイは環境省レッドリストにおいて準絶滅危惧(NT)に選定されている。



【執筆者】 増田修